

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		市道1007号線外道路改良事業						予算事業名		市道1007号線外道路改良事業費					
予算科目		会計	01	款 08	項 02	目 03	事業 2005	要求区分 経常経費	根拠法令	道路法，道路構造令，結城市道の構造の技術的基準等を定める条例					
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分	主要事業						
		2-3便利で快適に移動できるまちづくり(道路・公共交通)							重点事業						
		①道路ネットワークの形成						担当課係等	土木課						
		2快適に移動できる道路の整備							改良係						
事業期間		継続 (平成30年度～令和 2年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
沿線住民の利便性の向上を図るとともに将来的には巡回バスの運行ルートとしたいと地元自治会は要望している。								本路線は，県道結城・石橋線と松木合農村集落センターとを結ぶ市道であるが，幅員が狭く未舗装の箇所もあり，地元から強く拡幅要望がされていたため。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
市道1007号線外の約370m区間を幅員6mまで拡幅し，整備する。								沿線住民と道路利用者							
平成28年度 路線測量委託 道路及び交差点詳細設計委託 平成29年度 用地測量委託 ※上記は，市道整備事業として実施していた。 平成30年度～令和2年度 道路改良工事								【事業をとりまく環境の変化】 当初は，市単独費を充当し，整備を進めていたが，県との協議より国庫補助金(社会資本整備総合交付金)の活用が可能な目途がたち，平成30年度からは新規事業として進めていくものである。							
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】							

■事業費

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標			目標	66.80	100.00	0.00
			実績	30.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	進捗率	%	目標	66.80	100.00	0.00
	事業費ベース		実績	29.96	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地元からの強い要望があり、必要性が高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	法令及び技術管理に則り、設計・施工するため妥当である。 人員に関しても最小限の人数で行っており、改善の余地はない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	目的とした対象者に対して、広く便益が提供されることから偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	改良工事は進められているが、目標の水準を下回っており、成果についてはどちらも言えない。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	国庫補助金の交付額が要望に満たなかったため、進捗率に停滞が見られる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
令和元年度当初では国庫補助金が要望どおり交付されなかったため、部分的な工事（排水構造物）となり、成果についてはどちらも言えない状況である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
令和元年度追加補正により要望どおり交付されたため、令和2年度事業完了を目指す。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 令和2年度予定分、L=370mについては発注済みであり、今年度完成である。地元地権者、警察等と連携を密にしながら滞りなく事業を進める。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	